

デフレからの脱却とインフレ時代への移行

この頃、「様々なモノの値段が上がっている」というニュースを耳にすることが増えてきました。日本経済においては、90年代以降、20年弱にわたって「デフレ」が続いていましたが日銀が2013年1月にインフレ年率2%を目標として掲げたことなどを背景に、日本はようやくデフレから脱却しつつあるようです。

さらに広がる“モノの値上げ”

特に2014年以降、消費増税に加えモノの価格が上がっている事を実感される方も多いのではないのでしょうか。その背景には、円安の進行による輸入品の値上げや、物流費、人件費、電力価格の上昇などがあります。今後も私たちの生活に身近なものから少しずつ価格が上がる予定となっているようです。インフレ時代への移行に備え、物価上昇も視野に入れてお金の価値を維持する必要があるそうですね。



<モノの値上げに関連するニュース>



【これまで】

【2014年8月】

消費増税
5%→8%へ

【3月】

ケンタッキーフライドチキン
一部商品を10円～30円値上げ

出所：日本ケンタッキー・
フライド・チキン株式会社HP

【5月】

東京電力や関西電力など電力10社
電気料金を一斉値上げ

出所：JCASTニュース(2015/3/31)

消費税

日用品

外食

食料品

公共料金
など

【今後】

【2017年4月か?】

消費増税
8%→10%へ
出所：各種報道

【7月】

ユニクロ
2015年秋冬物商品
全体として平均1割程度値上げ
出所：株式会社ファーストリテイリング

【8月】

日本郵便
ゆうパックの基本運賃を
23年ぶりに30円～320円
値上げ

出所：ANNニュース(2015/5/15)

本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。)が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨(有価証券の取得の勧誘)を目的とするものではありません。本資料に記載された過去のデータは将来の結果を保証するものではありません。本資料は、弊社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された市場の見通し等は、本資料作成時点での弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合もあります。個別企業あるいは個別銘柄についての言及は、あくまで例示をもって理解を深めていただくためのものであり、当該個別銘柄の売買、ポートフォリオの構築、投資戦略の採用等を推奨あるいは勧誘するものでもありません。本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(Ⅰ)複写、写真複写、あるいはその他いかなる手段において複製すること、あるいは(Ⅱ)再配布することを禁じます。

<審査番号:6749-OTU-30498> © 2015 Goldman Sachs. All rights reserved.